

読売新聞 「病院の実力」に当院実績が掲載

眼科 治療特集

—医療機関別2011年治療実績—

注目!!

病院の実力「眼科」

医療機関別2011年治療実績（読売新聞調べ）

医療機関名	硝子体手術 (件)	白内障手術 (件)	緑内障手術 (件)	抗VEGF 抗治療法 (件)	外来 小児の専門 ○
金沢大	702	400	270	270	○
浅ノ川総合	248	1091	11	78	
金沢医大	186	1192	49	218	
石川 国・金沢	37	361	16	0	○
県立中央	34	379	2	32	
小松市民	0	193	0	0	
芳珠記念	0	158	0	0	
やわたメディカルセ	0	141	0	0	
NTT西日本金沢	0	114	0	0	
富山 真生会富山	491	1384	128	201	○
富山大	414	794	47	297	○
県立中央	約130	494	38	—	○
高岡市民	108	522	9	51	○
あさひ総合	51	426	12	123	
市立砺波総合	11	456	12	33	○
黒部市民	0	209	0	0	
福井 福井赤十字	318	1360	46	204	○
福井大	279	655	85	226	○
県済生会	136	768	36	101	○
県立	54	334	7	38	
公立小浜	28	434	2	0	
公立丹南	4	350	4	1	

「国・」は国立病院機構、「セ」はセンター。  
「—」は無回答または不明。

拡大

福井 県済生会	136	768	36	101	○
県立	54	334	7	38	
公立小浜	28	434	2	0	
公立丹南	4	350	4	1	

「国・」は国立病院機構、「セ」はセンター。  
「—」は無回答または不明。

従来の単焦点では、遠くか  
近くのどちらか一方しか見え  
ようになり、手術後には必ず手  
術後には必ずと言ってよいほど  
メガネをかける必要があった。  
多焦点は、遠くと手元（約30  
センチ）の距離（約50〜100  
センチ）を見えるようになる。レ  
ンズの性質上、単焦点よりもコ  
ントラストや明るさが若干

全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載してあります。今回は11月4日「抗がん剤治療」の予定です。

12版 石川2 地域 30

## 病院の実力

～石川編 63

今回は眼科の治療を特集する。一覧表には、「硝子体手術」「白内障の手術」「加齢黄斑変性に対する抗VEGF抗治療法」の各実施件数を掲載し、「小児の専門外来」がある施設は○で示した。特定の分野の手術が多いなど施設ごとに特徴があり、医療機関を選ぶ際の参考としたい。

硝子体手術は、糖尿病網膜症や網膜剥離などに對して行われる。眼科の中でも難度が高い手術とされる。

白内障の水晶体再建術は、濁った水晶体を取り除き、人工の眼内レンズに置き換える。日帰り手術を行う施設も



金沢医科大学教授 佐々木洋教授

## 白内障 水晶体を人工に

ある。徐々に視野が狭まる緑内障は、眼圧を下げる点眼薬治療が基本だ。効果が上がらない場合に、レーザー治療や手術が検討される。

加齢黄斑変性は、網膜の中にある。徐々に視野が狭まる緑内障は、眼圧を下げる点眼薬治療が基本だ。効果が上がらない場合に、レーザー治療や手術が検討される。

「抗VEGF抗治療法」では、異常な血管が伸びるのを抑制する。

心臓の黄斑部が傷み、視野の真ん中がゆがむ、暗い、といった症状が出る。網膜の下に血管から異常な血管が伸びる場合、レーザー治療や手術が検討される。

「抗VEGF抗治療法」では、異常な血管が伸びるのを抑制する。

### 「多焦点レンズ」使用に力

白内障手術で県内有数の件数を誇る金沢医科大学大病院（内灘町）の眼科、佐々木洋教授（50）に話を聞いた。

白内障は目の中のレンズに濁りが発生する病気だ。従来は濁りを取り除いて人工のレンズを入れる水晶体再建術が広く普及している。

病院で特に力を入れているのが「多焦点眼内レンズ」を使用する手術だ。2010年9月に、一部が保険適用された先進医療として厚生労働省の認可を受けた。

従来の単焦点では、遠くか近くのどちらか一方しか見えようになり、手術後には必ずと言ってよいほどメガネをかける必要があった。多焦点は、遠くと手元（約30センチ）の距離（約50〜100センチ）を見えるようになる。レンズの性質上、単焦点よりもコントラストや明るさが若干

FM がけく 78.7 MHz

8.00 経営法則 言いたい 70.00 ハーブア 美肌サイ 0.00 健康情報